

# 令和6年度当初予算 主要事業概要（教育費）

かつしか教育プラン（2024～2028）は、「かがやく未来をつくる力をはぐくむ ～ 共に学びあい 支えあうまち かつしか ～」を計画の目指す姿としてまとめ、3つの基本方針に基づき主要事業を推進していきます。

## ◆基本方針1

子ども一人一人が生き生きと学び生きる力を培う学校教育を推進します

### 【学校施設の改築】

学校施設担当課・学務課（13,188,205千円）

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築・改修等を推進していきます。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

6年度は引き続き改築を進めます。

#### （1）改築校

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、常盤中学校、柴又小学校、木根川小学校・渋江小学校・中川中学校

### 【学校施設のバリアフリー化推進事業】

学校施設担当課（132,865千円）

誰もが安心して学び、育つことができる教育環境の整備を推進していくため、学校施設におけるバリアフリー化の取組を進めます。

6年度は、小学校4校・中学校1校にスロープを設置するほか、小学校2校に車椅子使用者用トイレを設置します。

### 【計画的・予防的な修繕の推進】

学校施設担当課（1,105,280千円）

公共施設をできる限り長く、安全かつ快適に使えるようにするため、計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。

施設の日常点検や各種調査結果を生かしながら、葛飾区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

(1) 小学校 8 校

梅田小学校、堀切小学校、奥戸小学校、上平井小学校、亀青小学校、半田小学校、上小松小学校、幸田小学校

(2) 中学校 6 校

新宿中学校、奥戸中学校、綾瀬中学校、双葉中学校、一之台中学校、葛美中学校

### 【学校給食費の完全無償化・学校給食弁当対応者への補助】

学務課（1, 720, 331千円）

児童・生徒の心身の健全な発達と保護者負担の軽減を目的に5年度から実施している学校給食費の完全無償化について、6年度からは重度の食物アレルギー等の理由により学校給食を全く喫食せず弁当を持参している児童・生徒の保護者についても、学校給食費相当額の補助を開始します。

### 【総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～】

教育指導課（97, 841千円）

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともにICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。

さらに、小学校の学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

### 【教育情報化推進事業】

学校教育推進担当課（1, 867, 367千円）

人工知能(AI)やビッグデータ、IoT等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができる学校教育を実現するとともに、災害や感染症の発生等による緊急時においても、全ての子どもたちの学びを保障するため、学校におけるICT環境の整備や授業及び校務におけるICTの活用等、教育の情報化の更なる推進を図ります。

6年度は、プログラミングコンテストの拡充や中学校用プログラミング教材の導入等、情報教育の充実を図るとともに、学校の印刷環境の見直しや中学校におけるデジタル採点システムの導入等、ICTを活用した教員の働き方改革を推進します。

### 【体力向上のための取組】

教育指導課（6, 389千円）

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学1年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」

を、中学校の保健体育の授業において、外部有識者と連携した、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を継続して実施します。

### 【かつしかチャレンジプログラム】

教育指導課・学校教育推進担当課（11,579千円）

学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、土曜日を中心として活動し、もてる能力をさらに向上させるための、かつしかチャレンジプログラムを開設します。

6年度は、「自然科学コース（科学教室）」（小・中学生対象）、「プログラミングコース」（小・中学生対象）、「English challengeコース」（中学生対象）を実施し、思考力やコミュニケーション能力等のさらなる育成を図るとともに、コンクールや検定試験等に積極的に挑戦します。

### 【発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実】

学務課・総合教育センター教育支援課ほか（164,882千円）

発達障害等のある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全区立小・中学校で実施するほか、「多層指導モデル（デジタル版MIIM）」を引き続き実施します。

6年度は、「クラス支援員」を配置し、発達障害等のある児童・生徒が、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。また、子どもとの関わり方に困っている保護者向けの「ペアレントトレーニング」を拡大して実施します。

### 【日本語指導の充実】

学校施設担当課・学務課・総合教育センター教育支援課ほか（70,383千円）

来日直後等で日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒やその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。

6年度は、「にほんごステップアップ教室」への通室を希望する児童・生徒の増加に伴い、新小岩中学校に「にほんごステップアップ教室」を開設します。

### 【不登校対策プロジェクト】

学校施設担当課・学務課・総合教育センター教育支援課ほか（77,850千円）

学校や総合教育センターが家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。支援の方策として、登校できない状況にある子どものため「ふれあいスクール明石」を運営します。また、登校はできるものの教室に入ることができない子どもを支援するための「校内サポートルーム」を6年度は中学校3校で開設します。さらに、7年度に向けて、5校の開設準備を行います。

## 【いじめ防止対策プロジェクト】

教育指導課（7, 803千円）

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

また、学校の適切な初動対応のため、引き続き学校現場の相談を受け、問題解決を図るための弁護士を配置します。

## ◆基本方針2

家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな成長を促します

### 【学校施設等を活用した放課後子ども支援事業】

地域教育課・放課後支援課（533, 171千円）

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内に整備します。具体的な取組として、放課後等における児童の見守り体制の充実を図るとともに、わくわくチャレンジ広場の対象学年の拡大や、三季休業日の実施校を増やしていきます。また、再開発などにより待機児童が多い地域について優先的に、学校改築時の学童保育クラブの新設や新たな待機児童対策を進め、将来的な待機児童ゼロをめざします。

6年度は、水元小学校、道上小学校内及び新小岩地域に学童保育クラブを整備していきます。

また、新たな待機児童対策として、学校内の諸室を活用した放課後の居場所づくりの学童保育クラブ待機児童解消見守り事業を実施します。

### 【学校地域応援団活動支援】

地域教育課（15, 837千円）

地域の方々の力により学校を支援する学校地域応援団は、区立小・中学校73校全校に設置されており、各校の地域コーディネーターが抱える様々な課題や悩みを解決するため、地域コーディネーターの情報交換の場や具体的な活動に資する研修会を開催するなど支援の充実を図ります。

また、参考事例となる活動内容の詳細を掲載した活動紹介集を作成・配付することにより多様な活動の促進を図ります。

さらに、各学校地域応援団による活動を区の広報紙や公式ホームページ、SNS等を活用し情報発信することなどにより、地域の方が気軽に学校の支援に参加できる環境づくりに取り組めます。

## 【家庭教育支援事業】

地域教育課（４，７３６千円）

子育て中の家庭に対して、よりよく生きていくための礎となる生活習慣と基礎的な社会ルールについて、乳幼児期から身に付ける大切さの理解を深めるため、「早寝・早起き、朝ごはんカレンダー」と「かつしか家庭教育のすすめ」を作成・配布し、学びの出発点である家庭の教育力向上を図ります。

また、子どもの育成に関わる活動を行う保護者組織等に対して、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供、活動支援を行います。

## 【中学校部活動の地域移行】

地域教育課（２７，５９９千円）

中学校部活動の維持・充実を目的として、部活動の地域への移行を進めるため、区立中学校の中からモデル校を指定し、新たに地域クラブ活動を試行的に実施します。

その結果得られた成果や課題について検証を重ねながら、区における地域移行の展開方法を検討していきます。

また、部活動については、学校の状況を考慮しながら、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置の充実を図ります。

６年度は、中学校１校で新たに地域クラブ活動を試行的に実施します。

---

## ◆基本方針３

### 生涯にわたる豊かな学びを支援します

---

## 【学びの機会の充実】

生涯学習課（７，７９８千円）

あらゆる世代の区民が充実した人生を生きるため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を拡充します。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、オンラインによる講座の開催など、ICTを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

## 【文化財の保存及び活用】

生涯学習課（８３，７７８千円）

本区に存する貴重な文化財が適切に保存・管理されるよう当該所有者等を支援するとともに、所有者や地域の方々との協働により、文化財の積極的な情報発信や新たな観光資源としての活用を図ります。

また、指定・登録文化財以外でも、地域で大切に守り伝えられている文化的資源を、地域の歴史や文化を伝える大切な資源として継承していくとともに、地域の文化遺産として活用し地域の活性化を図ります。

### 【高齢者の健康づくりの推進】

生涯スポーツ課（８，３０８千円）

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用していくことで、高齢者が身近な地域で安心、安全にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。

これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握したうえで運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの３種目を普及促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するために、ウォーキング・ランニング事業を実施します。

### 【障害者スポーツの推進】

生涯スポーツ課（９，７６６千円）

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員の養成と発掘をするとともに、年間を通して定期的に教室や開放事業を開催して指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現に向けて、ユニバーサルスポーツの普及と発展及び指導員やボランティアの育成をめざします。

６年度は、パリ大会を契機として、日本ブラインドサッカー協会との連携・協力協定による普及啓発イベントを実施します。

### 【区民健康スポーツ参加促進事業】

生涯スポーツ課（３８，９２８千円）

区民のスポーツ実施率を向上させるため、一般社団法人葛飾区スポーツ協会と連携して、スポーツ協会加盟４１団体が実施するスポーツ体験教室や大会、指導員養成等について支援します。これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。

かつしかふれあいRUNフェスタは、堀切水辺公園をメイン会場に荒川河川敷管理道路をコースとして実施しています。今後、おもてなしサービスやコースの充実等を図り、区民により身近なイベントとして、地域事業者や地域団体との連携を深めるとともに、家族みんなで参加者を応援することや、ボランティアとして大会に参加するなど、ランナー以外の区民も参加できる葛飾らしいイベントとしていきます。

## 【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

生涯スポーツ課（264,938千円）

スポーツ施設の利便性・安全性を向上させるための改修などに計画的に取り組み、安心して利用しやすい環境整備を進めます。

6年度は、奥戸総合スポーツセンター少年野球場改修工事のほか、奥戸総合スポーツセンター少年野球場駐車場等改修設計や奥戸総合スポーツセンター体育館照明設備改修工事、荒川河川敷グラウンドトイレ改修工事に着手します。

## 【私学事業団総合運動場の活用】

生涯スポーツ課（103,787千円）

私学事業団総合運動場については、区民の健康づくり・スポーツ振興の一層の促進に向け、区の体育施設（(仮称)東新小岩運動場）として整備し、活用していきます。

## 【デジタル技術の効果的な活用推進】

中央図書館（30,248千円）

近年、デジタル化の進展により社会環境が大きく変化している状況を受け、葛飾区立図書館においてもデジタル技術を積極的に活用することにより、図書館サービスの向上や業務効率化に取り組んでいきます。

### （1）鎌倉図書館セルフ予約棚導入

利用者のプライバシー確保や利便性向上のため、地域館にICTを活用した自動貸出機、セルフ予約棚、簡易返却機などの設備を導入し、貸出・返却や予約した本等の受け取りについて、職員を介さず利用者自身で手続きを行うことができるシステムを整備します。

6年度は鎌倉図書館に自動貸出機及びセルフ予約棚を導入します（簡易返却機は導入済）。

### （2）電子書籍事業の拡充

図書館では、来館しなくても誰でも気軽に読書を楽しめる環境を提供するため、令和3年9月からICTを活用した電子図書館を導入しています。

6年度は電子書籍の購入数を増やし、事業を拡充することにより、更なる非来館者サービスの充実を図っていきます。

### （3）中央図書館座席管理システムのリプレイス

中央図書館座席管理システムのリプレイスに合わせて新たにWeb予約機能を導入します。これにより、現行システムでの課題である座席予約時の待ち時間解消を図り、より一層の利用者の利便性向上へと繋げていきます。

## 【図書館の窓口等業務委託】

中央図書館（319,807千円）

効率的かつ質の高い図書館サービスを安定的・持続的に提供していくため、図書館運営の再構築を行います。各館の役割を明確化するとともに、運營業務を仕分けし、経験や本区の実況等を踏まえた専門性の高い業務については直営で行い、窓口業務をはじめとした定型的

な業務については民間活力を活用していきます。

既に窓口等業務を委託している中央図書館に加え、6年度は新たに地区館6館と立石図書館について、窓口等業務を委託します。